

質 疑 要 旨

馬場弘勝議員 No. 1

質 疑 要 旨	要 答 弁 者
1 被災家屋群の一体的な活用について (1) 被災家屋の修繕・利活用に関する個別相談や現地調査を経て、修繕して自ら住む、あるいは、他者による活用を希望するという判断などの件数や割合はどうなっているのか。 (2) 他者による活用を希望する家屋について、古民家情報マッチングサイト「古民家住まいる」への問合せは、順調に推移しているのか。また、マッチングが成立した家屋はあるのか。 (3) 能登復興建築人会議による集落単位の家屋群の視察ツアーに参加した事業者の反応、判断はどのようなものか。また、利活用の実現に向け、さらなる詳細な調査の段階に進んでいるのか。 (4) 6月補正予算案に計上された、被災家屋群の一体的な活用に向けた視察ツアーへの支援の狙いと具体的な支援内容、どのような利活用による地域の活性化を目指すのか聞く。	知 事 復旧・復興推進部長
2 新消防学校のディザスターシティ化について (1) より高度な人命救助訓練を可能とするため、新消防学校の訓練施設を日本版ディザスターシティ化すべきと考えるがどうか。 (2) 経済同友会が開催する「のとマルチセクター・ダイアログ」におけるディザスターシティの議論に積極的に関わるべきと考えるが、所見を聞く。	知 事 危機管理部長 復旧・復興推進部長
3 デジタルマップの展開について (1) 今行ける能登のデジタルマップを県全域に展開していく時期にきていると思うが、準備は進んでいるのか。 (2) デジタルマップの構築にあたり、旅マエ、旅ナカの渋滞予測や駐車場の満車・空車情報、観光スポットや飲食店の混雑状況等を情報提供する機能を加えるべきと考えるがどうか。 (3) 観光DX化による事業者側のデータ活用システムを構築すべきと考えるが、所見を聞く。	知 事 文化観光スポーツ部長

この質疑要旨は、6月18日午後4時55分に取りまとめたものです。

質 疑 要 旨

馬場弘勝議員 No. 2

質 疑 要 旨	要 答 弁 者
4 広報の多言語化について (1) 多言語対応等、外国人住民に向けた広報ツールの現状を聞く。 (2) 広報の多言語化を進め、増加する外国人住民に伝わる広報ツールをひとつでも多く増やすべきと考えるが、所見を聞く。 (3) 広報誌「もっといしかわ」に多言語表示と多言語音声読み上げを簡便に行えるシステムを導入すべきと考えるが、所見を聞く。	知 事 戦 略 広 報 監
5 スタートアップの成長に向けた支援について (1) 本県も参画する北陸スタートアップ・エコシステム・コンソーシアムが、内閣府のNEXTグローバル拠点都市に選定されたが、そのビジョンと5年間の選定期間で取り組む内容を聞く。 (2) スタートアップの成長と県政の課題解決に向け、積極的に公共調達を通じた初期市場を創出すべきと考えるが、所見を聞く。 (3) 公共調達を通じた初期市場創出のため、県政の課題をスタートアップに紹介するリバースピッチ会や、調達実務に近い県職員とスタートアップとのマッチングイベントを実施してはどうか。	知 事 商 工 労 働 部 長
6 全国高等学校総合文化祭石川大会について (1) 県独自の協賛部門を、茶道、郷土研究、軽音楽の3部門とした考えと狙いを聞く。 (2) 令和8年度の秋田大会において、本県が招へいする海外の高等学校や交流会の内容等について、所見を聞く。 (3) 令和9年度の本大会に向け、令和8年度におけるプレ大会実施の可否、内容について、所見を聞く。	教 育 長

この質疑要旨は、6月18日午後4時55分に取りまとめたものです。